

三井金属鉱業株式会社(5706)

2012年3月期決算説明会

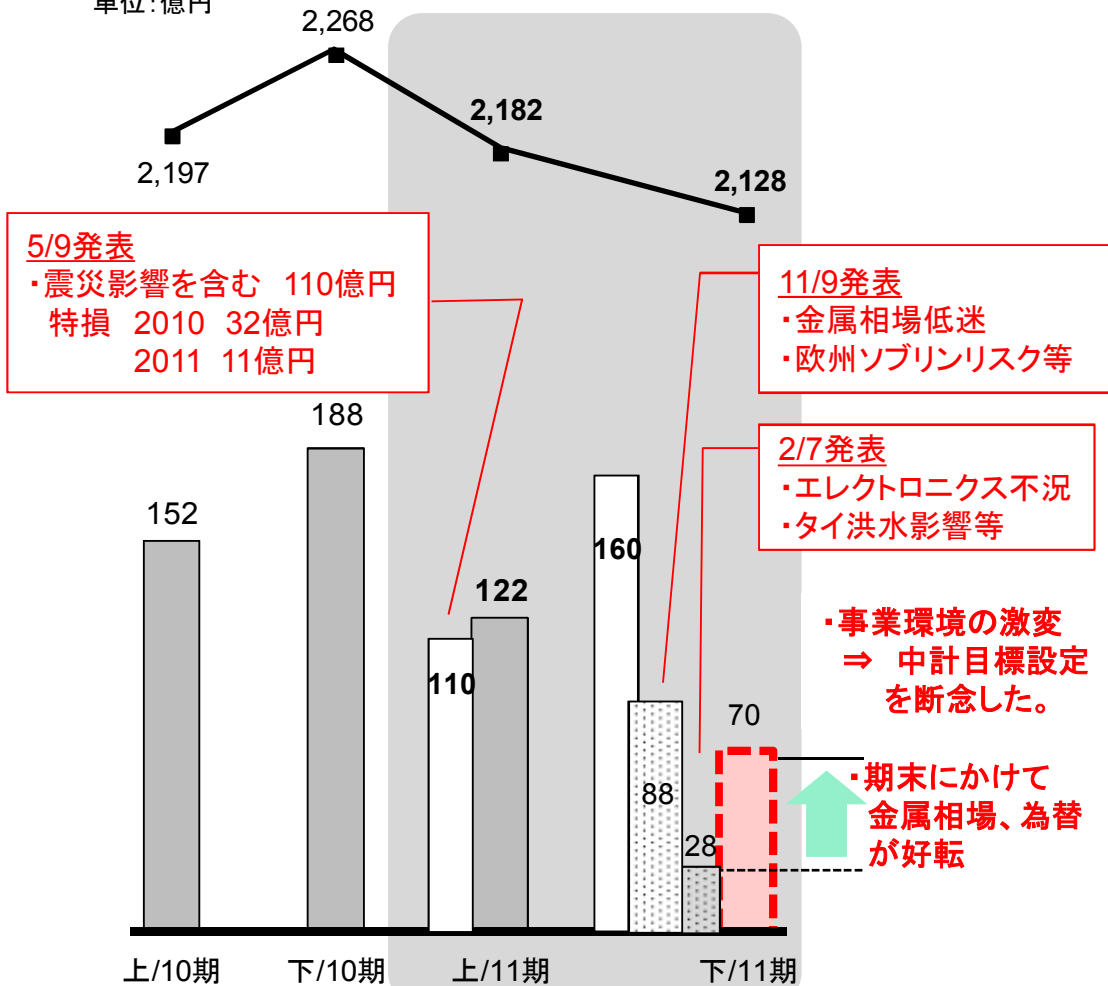
2012.5.14

2011年度決算概要と2012年度見通し

2011年度は激動の年だった。東日本大震災、電力危機、放射能汚染、タイ大洪水、欧州ソブリンリスク、超円高などにより、下期は年度当初の予想を大きく下回った。2012年度も事業環境は不透明

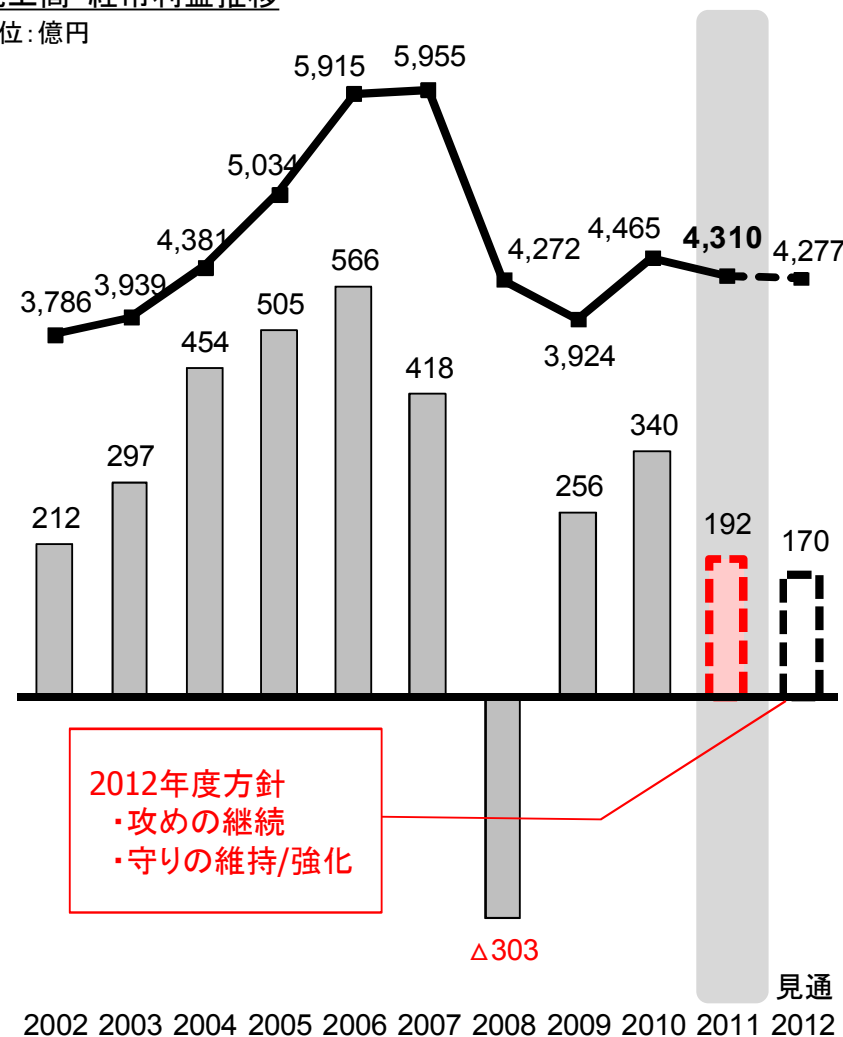
11年度上/下期別内訳

単位: 億円



売上高・経常利益推移

単位: 億円



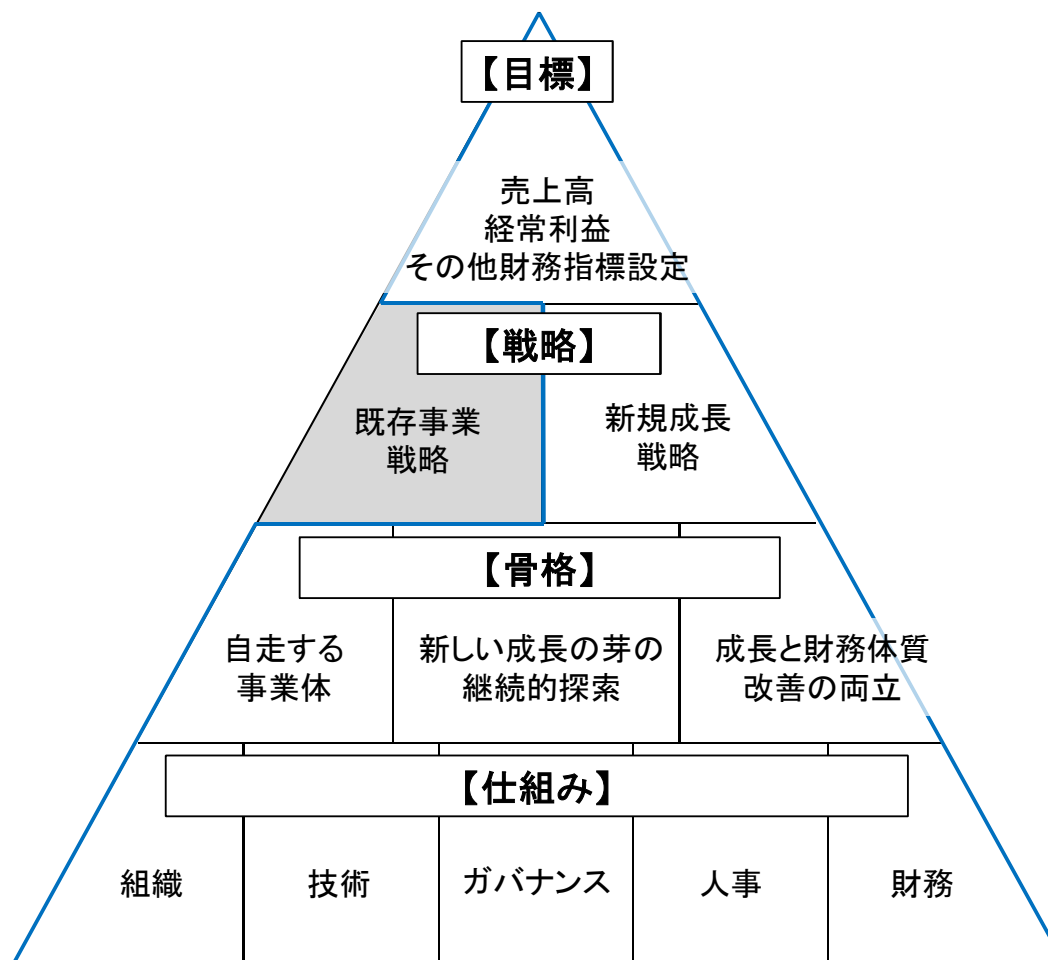
12中計編成では「ありたい姿」～「注力していく事業分野」の設定を行ない、
 目標達成に向けた仕組み・骨格を構築し運用を開始した。目標達成に向けた戦略の策定もほぼ完了した

【ありたい姿】
 「マテリアルの知恵」を活かした素材事業にて
 持続的に成長する会社

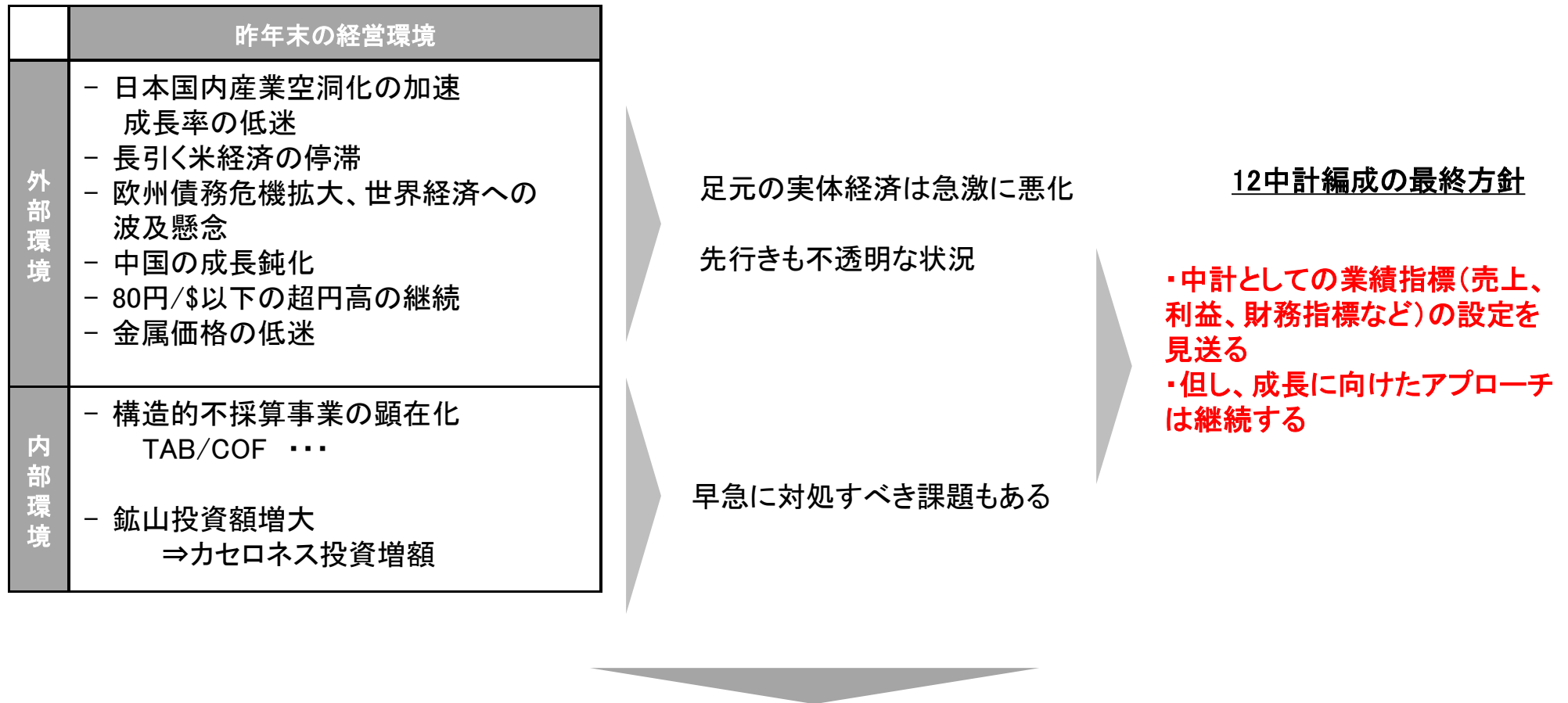
【狙うべき市場】
 「環境」「エネルギー」「資源」「リサイクル」

【特に注力していく事業】
 「触媒」「電池材料」「資源」「リサイクル」

【注力していく事業分野】
 「機能材料」「金属・資源」「電子材料」



一方で、足許の実体経済は急激に悪化し、先行きも不透明であり、かつ早急に対処すべき課題も顕在化してきたことより、中計・業績指標の設定を見送った



次期中計目標設定について

最悪期は脱したものの未だ先行き不透明 → 今夏の終わりを目処に判断

¶ 取り巻く事業環境

世界

- ・ 欧州債務危機の再燃
- ・ 米国：景気回復に力強さを欠く
- ・ 中国の経済の成長鈍化

日本

- ・ 円高の継続と電力不足

三井金属

- ・ 非鉄金属相場の低迷
エネルギーコストの上昇
- ・ 製品のコモディティ化の進行

¶ 攻めの継続（成長戦略の実行）

- ・ 触媒インドネシア新工場による事業拡大
- ・ 竹原製煉所でのマンガン酸リチウムの設備増強
- ・ 竹原製煉所に廃基板処理用溶融キルンを設置
- ・ カセロネス銅鉱山（チリ）の開発、操業
- ・ カナダ、ペルーでの亜鉛探鉱
- ・ 自動車機器事業における
国内生産拠点見直し&本部機能強化
中米など新興国での商機創出

¶ 守りの維持/強化

- ・ キャッシュフロー重視、財務体質強化
- ・ 資産圧縮、効率的生産方式
- ・ 夏の電力不足、電力@upへの対応
- ・ コモディティ化製品の再建/見直し

- ・ 「攻め」と「守り」メリハリのある事業運営を指向する
- ・ 自走する事業本部のシナジー、Corporate Lab の早期定着を実現する

電池材料【エネルギー】

リチウムイオン二次電池用マンガン系正極材新工場は完成

新工場進捗状況



設置場所 当社竹原製煉所
(広島県竹原市)

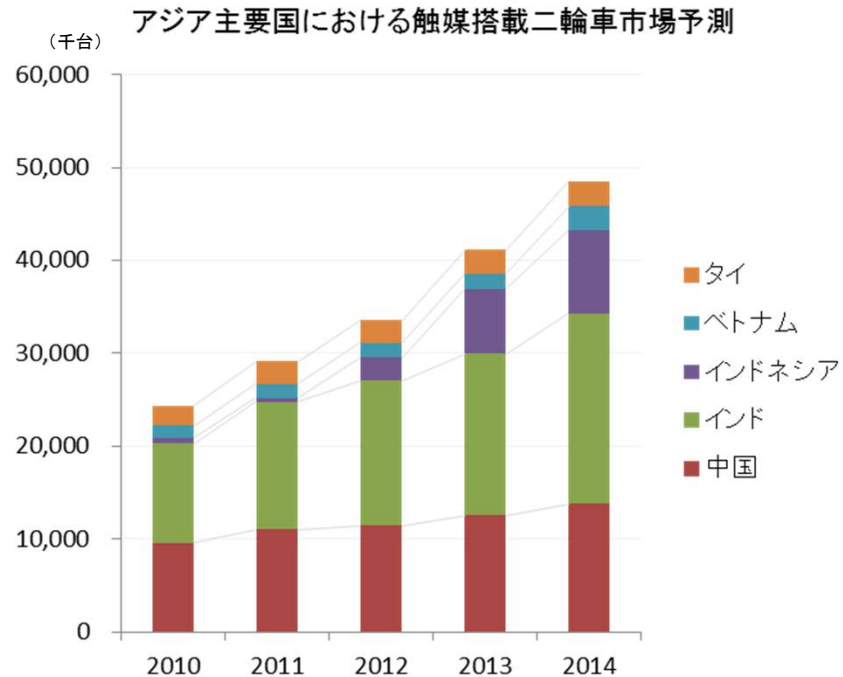
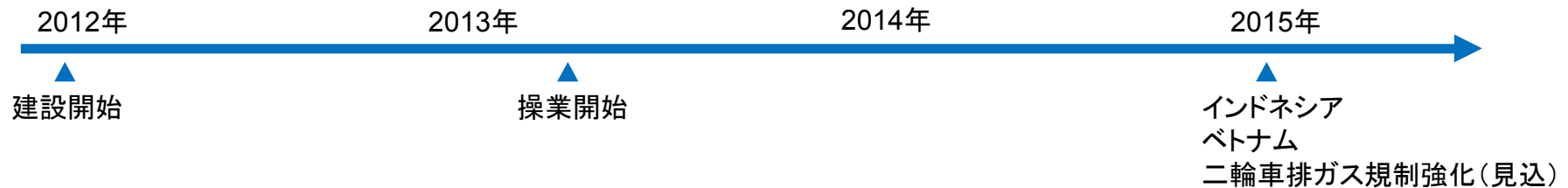
投資額 70億円

設備能力 年産 12,000トン

触媒 【環境】

インドネシアで2015年に導入が予想される環境規制の強化を視野に、ジャカルタに新拠点を建設する

触媒インドネシア工場新設 タイムスケジュール



新会社名	PT. Mitsui Kinzoku Catalysts Jakarta
所在地	西ジャワ州カラワン県 スルヤチプタ工業団地内
資本金	10百万US\$
出資者	当社100%

【 資源 】

	銅	亜鉛	
プロジェクト	カセロネス	ラドック・クリーク	アタラヤ
場所	チリ	カナダ	ペルー
ステージ	建設中	探鉱中	探鉱中
操業開始	2013年1月(SXEW) 2013年9月(精鉱)	未定	未定
生産計画	精鉱(銅量) 15万t/年 SXEW電気銅 3万t/年 (操業当初5年平均)	未定	未定
開発投資額	約30億ドル	未定	未定
権益比率	PPC 75% 三井物産 25%	当社30% (2012年追加権益取得後)	当社 100%

【リサイクル】

廃基板処理用溶融キルン設備を新設

溶融キルン設備新設 タイムスケジュール



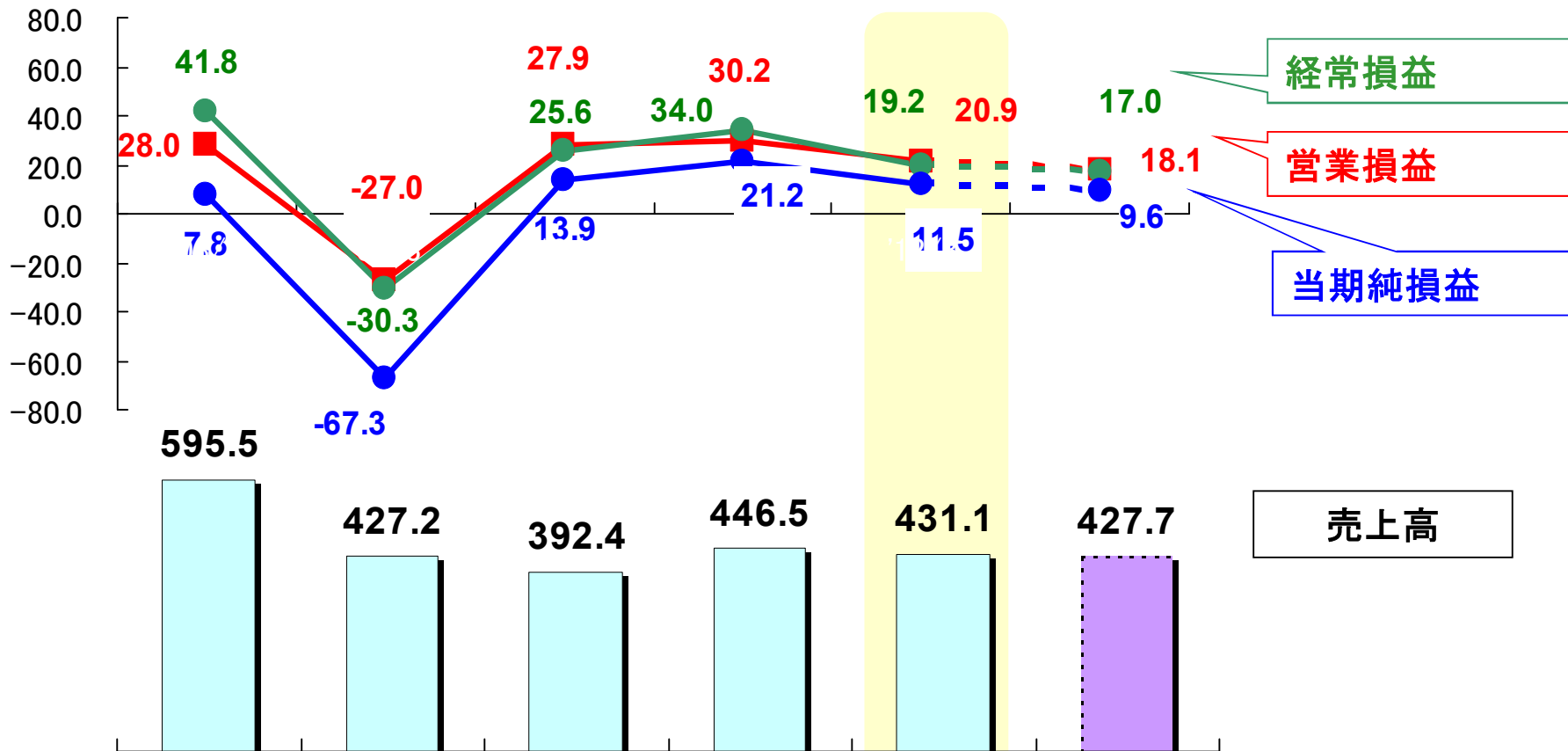
設置場所 当社竹原製煉所
(広島県竹原市)

処理能力 年間 12,000トン

2011年度決算および2012年度見通し

売上高・損益

(単位:十億円)



1株当り配当
連結配当
性向

'08/3 '09/3 '10/3 '11/3 '12/3 '13/3

12円 0円 3円 6円 3円 未定

87.8% - 12.3% 16.2% 14.9% -

(5/11現在予想)

経営の概況

■ 2011年度決算 (前期比)

- ・ 円高や金属価格下落および電子材料市場の軟化等の影響で、売上高は減少、営業利益、経常利益、当期純利益とも減益

機能材料: ハイブリッド車向け電池材料や二輪車用触媒が好調に推移

金属・資源: 円高および金属価格下落の影響をはじめ、前期の一過性の収益要因剥落等により大幅減益

電子材料: 特にアジアの汎用箔市場軟化の影響を受け減益

素材関連: TAB/COF事業減速の影響等により減益

自動車機器: 東日本大震災やタイ洪水の影響を受けたが、その後の増産、コストダウン等により
ほぼ前年並みの利益を維持

配当: 通期業績を踏まえ、期末配当を3円/株に減配

■ 2012年度見通し

- ・ スマートフォン向け高機能銅箔の市場拡大や自動車機器事業におけるコストダウン等による増益はあるものの、レアメタル価格下落の影響等の悪化要因もあり、減益を見込む

損益計算書

	実 績			見 通 し			
	2010	2011	増減	2012	増減	上/12期	下/12期
売上高	446.5	431.1	-15.4 -3.5%	427.7	-3.4 -0.8%	206.0	221.7
売上原価	376.2	369.7	-6.4 -1.7%	-	-	-	-
売上総利益	70.3	61.3	-9.0 -12.8%	-	-	-	-
販売費・管理費	40.1	40.4	0.3 0.8%	-	-	-	-
営業利益	30.2	20.9	-9.3 -30.8%	18.1	-2.8 -13.4%	7.0	11.1
営業外収支	3.8	-1.7	-5.5	-1.1	0.6	-0.5	-0.6
経常利益	34.0	19.2	-14.8 -43.6%	17.0	-2.2 -11.3%	6.5	10.5
特別損益	-4.2	-3.0	1.3	-2.8	0.2	-1.0	-1.8
税引前利益	29.8	16.2	-13.6 -45.6%	14.2	-2.0 -12.1%	5.5	8.7
税金費用・少数株主利益	8.6	4.7	-3.9	4.6	-0.0	2.0	2.6
当期純利益	21.2	11.5	-9.6 -45.5%	9.6	-1.9 -16.7%	3.5	6.1

四半期売上高および利益推移 (十億円)

	'10/Q1	'10/Q2	'10/Q3	'10/Q4	'11/Q1	'11/Q2	'11/Q3	'11/Q4	'10/通期	'11/通期	増減
■売上高											
機能材料	10.1	9.6	12.0	14.0	13.7	16.4	16.0	15.4	45.7	61.5	15.9
金属・資源	37.6	33.0	41.8	35.8	38.0	30.7	34.0	36.7	148.3	139.4	-8.9
電子材料	20.2	20.9	19.6	22.0	24.2	23.3	16.5	18.6	82.7	82.5	-0.2
素材関連	39.5	33.9	34.0	38.0	34.7	35.7	30.8	34.2	145.4	135.5	-9.9
自動車機器	21.3	23.9	24.0	22.0	18.2	21.5	25.2	27.2	91.2	92.1	0.9
調整額	-16.6	-13.8	-17.6	-18.8	-24.6	-13.7	-19.8	-21.8	-66.8	-79.9	-13.1
連結	112.1	107.6	113.9	112.9	104.3	113.8	102.6	110.3	446.5	431.1	-15.4
■営業利益 [a]											
	7.1	6.1	9.5	7.5	7.8	5.5	2.8	4.8	30.2	20.9	-9.3
(うち棚卸資産在庫要因 [b])	(-1.2)	(0.0)	(2.1)	(0.5)	(0.7)	(-1.4)	(-1.7)	(-0.1)	(1.4)	(-2.5)	(-3.9)
[a] - [b]	(8.3)	(6.1)	(7.4)	(7.0)	(7.1)	(6.9)	(4.5)	(4.9)	(28.8)	(23.4)	(-5.4)
■経常利益											
機能材料	1.8	1.3	2.6	2.8	3.0	3.4	3.3	2.0	8.5	11.8	3.2
金属・資源	2.0	2.1	5.7	2.2	1.0	-0.0	-2.4	2.6	12.0	1.2	-10.8
電子材料	2.7	2.1	1.7	1.7	1.7	0.3	-0.3	-0.3	8.2	1.4	-6.8
素材関連	2.0	0.9	-0.1	2.3	2.3	1.0	-0.3	-0.1	5.2	3.0	-2.2
自動車機器	0.8	1.2	1.8	1.5	0.7	0.7	2.2	1.5	5.3	5.1	-0.2
調整額	-0.4	-1.3	-1.2	-2.3	-1.4	-0.6	-0.7	-0.5	-5.1	-3.3	1.9
連結	8.9	6.3	10.5	8.3	7.4	4.9	1.7	5.2	34.0	19.2	-14.8
■当期純利益											
	6.6	4.7	8.6	1.2	4.3	2.8	0.2	4.2	21.1	11.5	-9.6

営業外・特別損益

(単位:十億円)	実績			見通し			
	2010	2011	増減	2012	増減	上/12期	下/12期
金利収支	-2.6	-2.5	0.1	-2.5	-0.0	-1.3	-1.2
受取配当金	1.6	1.3	-0.2	0.7	-0.6	0.4	0.3
持分法投資損益	5.6	-0.5	-6.1	0.6	1.1	0.2	0.4
銅価格(¢/ポンド)	(369¢)	(385¢)	(16¢)	(330¢)	(-55¢)	(330¢)	(330¢)
亜鉛価格(\$/t)	(\$2,187)	(\$2,101)	(\$86)	(\$2,000)	(\$101)	(\$2,000)	(\$2,000)
その他	-0.7	-0.0	0.7	-0.6	-0.6	-0.4	-0.2
営業外損益 計	3.8	-1.7	-5.5	-1.8	-0.1	-1.0	-0.8
投資有価証券評価損							
補償金・賠償金	-0.7	-0.1	0.6	-0.1	0.0	-0.1	-0.0
固定資産除売却	-0.8	-0.9	-0.1	-0.6	0.4	-0.3	-0.3
減損損失	-1.4	-0.2	1.2	-0.2	0.0	-0.1	-0.1
災害損失	-3.2	-1.2	2.0		1.2		
棚卸資産処分損失引当金							
伸銅事業持分変動損益	2.2		-2.2				
事業構造改善費用	-0.4	-0.8	-0.4	-0.1	0.7	-0.0	-0.1
その他	0.0	0.3	0.3	-1.8	-2.1	-0.5	-1.3
特別損益 計	-4.2	-3.0	1.3	-2.8	0.2	-1.0	-1.8

事業セグメント別内訳 (十億円)

	実績			見通し			
	2010	2011	増減	2012	増減	2012 上期	2012 下期
■売上高							
機能材料	45.7	61.5	15.9 34.8%	60.3	-1.2 -2.0%	28.5	31.8
金属・資源	148.3	139.4	-8.9 -6.0%	137.0	-2.4 -1.7%	66.9	70.1
電子材料	82.7	82.5	-0.2 -0.2%	78.1	-4.4 -5.3%	39.2	38.9
素材関連	145.4	135.5	-9.9 -6.8%	124.4	-11.1 -8.2%	58.2	66.2
自動車機器	91.2	92.1	0.9 0.9%	90.6	-1.5 -1.6%	45.6	45.0
調整額	-66.8	-79.9	-13.1	-62.7	17.2	-32.4	-30.3
連結	446.5	431.1	-15.4 -3.5%	427.7	-3.4 -0.8%	206.0	221.7
■経常利益							
機能材料	8.5	11.8	3.2 37.9%	6.2	-5.6 -47.3%	2.7	3.5
金属・資源	12.0	1.2	-10.8 -90.1%	1.0	-0.2 -15.5%	0.0	1.0
電子材料	8.2	1.4	-6.8 -82.7%	2.5	1.1 77.1%	1.4	1.1
素材関連	5.2	3.0	-2.2 -42.0%	3.5	0.5 16.7%	0.8	2.7
自動車機器	5.3	5.1	-0.2 -3.7%	7.7	2.6 51.3%	3.4	4.3
調整額	-5.1	-3.3	1.9	-3.9	-0.6	-1.8	-2.1
連結	34.0	19.2	-14.8 -43.6%	17.0	-2.2 -11.3%	6.5	10.5

セグメントの業績(1)機能材料

(単位:十億円)

	'10/通期	'11/通期	増減	'12通期 (予想)	増減	'12/Q1-2 (予想)	'12/Q3-4 (予想)
■売上高	45.7	61.5	15.9	60.3	-1.2	28.5	31.8
■経常利益	8.5	11.8	3.2	6.2	-5.6	2.7	3.5
売上高経常利益率	19%	19%	0%	10%	-9%	9%	11%





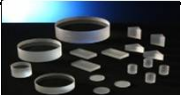
経常利益の増減説明

['2010 → '2011 +32億円]

- ・ハイブリッド車の販売台数の伸びにともない、
電池材料事業が好調
- ・二輪車用触媒市場拡大

['2011 → '2012 -56億円]

- ・2011年度のレアメタル価格上昇に伴う在庫要因による利益剥落

(機能材料製品)		(主な用途)
電池材料		・ハイブリッド車向けニッケル水素電池 ・リチウムイオン電池向け正極材
機能粉		・複写機・プリンター向トナー
レアメタル化合物		・フラットパネル、ハードディスク研磨 ・デジタルカメラレンズ
自動車排ガス用触媒		・二輪車用排ガス触媒
単結晶		・半導体製造装置

セグメントの業績(2) 金属・資源

(単位:十億円)

	'10/通期	'11/通期	増減	'12/通期 (予想)	増減	'12/Q1-2 (予想)	'12/Q3-4 (予想)
■売上高	148.3	139.4	-8.9	137.0	-2.4	66.9	70.1
■経常利益	12.0	1.2	-10.8	1.0	-0.2	0.0	1.0
売上高経常利益率	8%	1%	-7%	1%	0%	0%	1%

金属価格・為替の推移

	FY09	FY10	FY11	FY12
亜鉛(LME) \$/t	1,934	2,187	2,101	2,000
亜鉛(ヘッジ後) \$/t	1,830	2,210	2,144	2,000
鉛(LME) \$/t	1,985	2,244	2,274	2,300
銅(LME) ¢ /lb	277	369	385	330
為替 yen/\$	93	86	79	80

2012年度損益感応度(経常損益)

亜鉛(LME)	±100\$/t	± 7億円
鉛(LME)	±100\$/t	± 1億円
銅(LME)	±10 ¢ /lb	± 0.5億円
為替	±1yen/\$	± 2億円

経常利益の増減説明(概算)

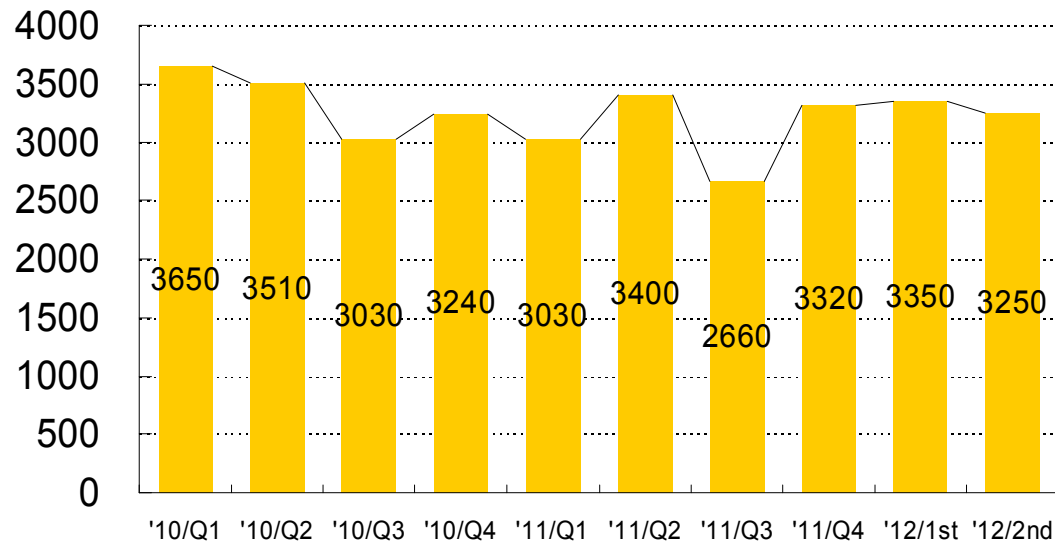
	['10→'11]	['11→'12]
相場(亜鉛)・為替	-20 億円	-11 億円
T/C条件(亜鉛)	-4	-4
たな卸資産在庫要因	-24	17
コークス価格	-7	4
持分変動損益	-48	6
その他	-5	-14
合計	-108 億円	-2 億円

セグメントの業績(3)電子材料


(単位:十億円)

	'10/通期	'11/通期	増減	'12通期 (予想)	増減	'12/Q1-2 (予想)	'12/Q3-4 (予想)
■売上高	82.7	82.5	-0.2	78.1	-4.4	39.2	38.9
■経常利益	8.2	1.4	-6.8	2.5	1.1	1.4	1.1
売上高経常利益率	10%	2%	-8%	3%	1%	4%	3%

銅箔販売数量 (t/月)



(5/11現在予想)

(電子材料製品)	(主な用途)
電解銅箔	 <ul style="list-style-type: none"> ・高密度パッケージ材料 ・プリント配線板
金属粉	 <ul style="list-style-type: none"> ・各種電子部品

経常利益の増減説明

['2010 → '2011 -68億円]

- ・特にアジアにおけるマーケットの冷え込みにより減益

['2011 → '2012 +11億円]

- ・高機能銅箔の販売数量増を見込む

セグメントの業績(4) 素材関連

(単位:十億円)

	'10/通期	'11/通期	増減	'12/通期 (予想)	増減	'12/Q1-2 (予想)	'12/Q3-4 (予想)
■売上高	145.4	135.5	-9.9	124.4	-11.1	58.2	66.2
■経常利益	5.2	3.0	-2.2	3.5	0.5	0.8	2.7
売上高経常利益率	4%	2%	-1%	3%	1%	1%	4%

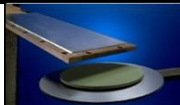

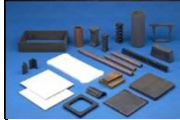

経常利益の増減説明

['2010 → '2011 -22億円]

・主に震災影響により減益

['2011 → '2012 +5億円]

・2011年度計上した薄膜材料の在庫要因や震災等の悪化要因が消える影響で増益

(主要素材関連製品)	(主な用途)
薄膜材料	 ・フラットパネルディスプレイ
パーライト	 ・人口軽量土壌 ・耐火・耐熱用壁材
セラミックス	 ・高温炉用耐火断熱材 ・焼成用窯道具 ・溶融アルミニウムろ過装置
ダイカスト	 ・自動車部品用アルミダイカスト ・デジタル一眼レフカメラ筐体

セグメントの業績(5) 自動車機器

(単位:十億円)

	'10/通期	'11/通期	増減	'12/通期 (予想)	増減	'12/Q1-2 (予想)	'12/Q3-4 (予想)
■売上高	91.2	92.1	0.9	90.6	-1.5	45.6	45.0
■経常利益	5.3	5.1	-0.2	7.7	2.6	3.4	4.3
売上高経常利益率	6%	6%	0%	8%	3%	7%	10%

経常利益の増減説明

['2010→'2011 -2億円]

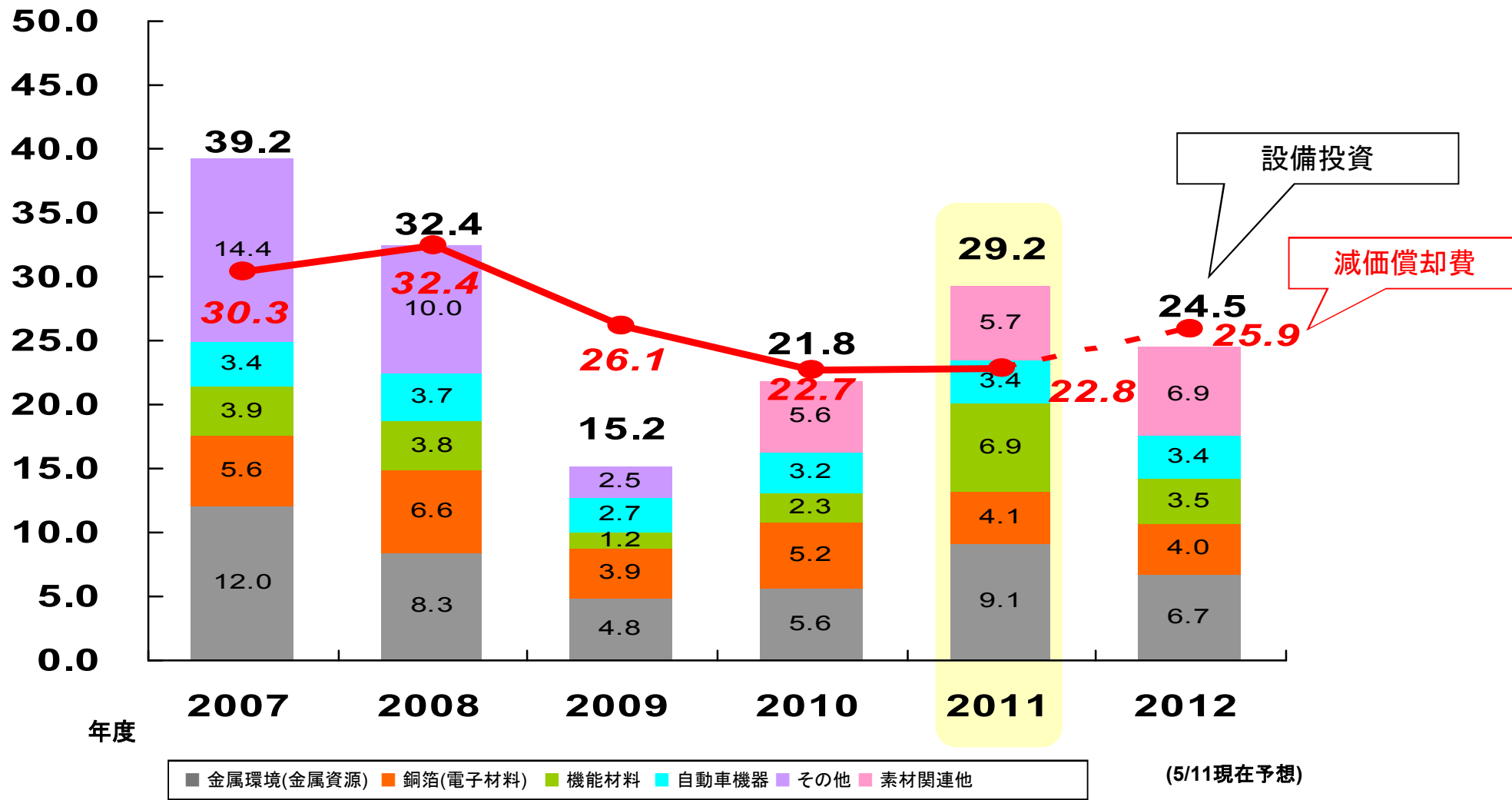
- ・震災やタイ洪水といった影響はあったが、その後の増産やコストダウンにより挽回

['2011→'2012 +26億円]

- ・好調な市場環境に加えて、更なるコストダウン効果を見込む

(自動車機器製品) [三井金属アクト]		(主な用途)
自動車用 機能部品		<ul style="list-style-type: none"> ・ドアロック ・オートクローザーシステム

設備投資・減価償却 (十億円)

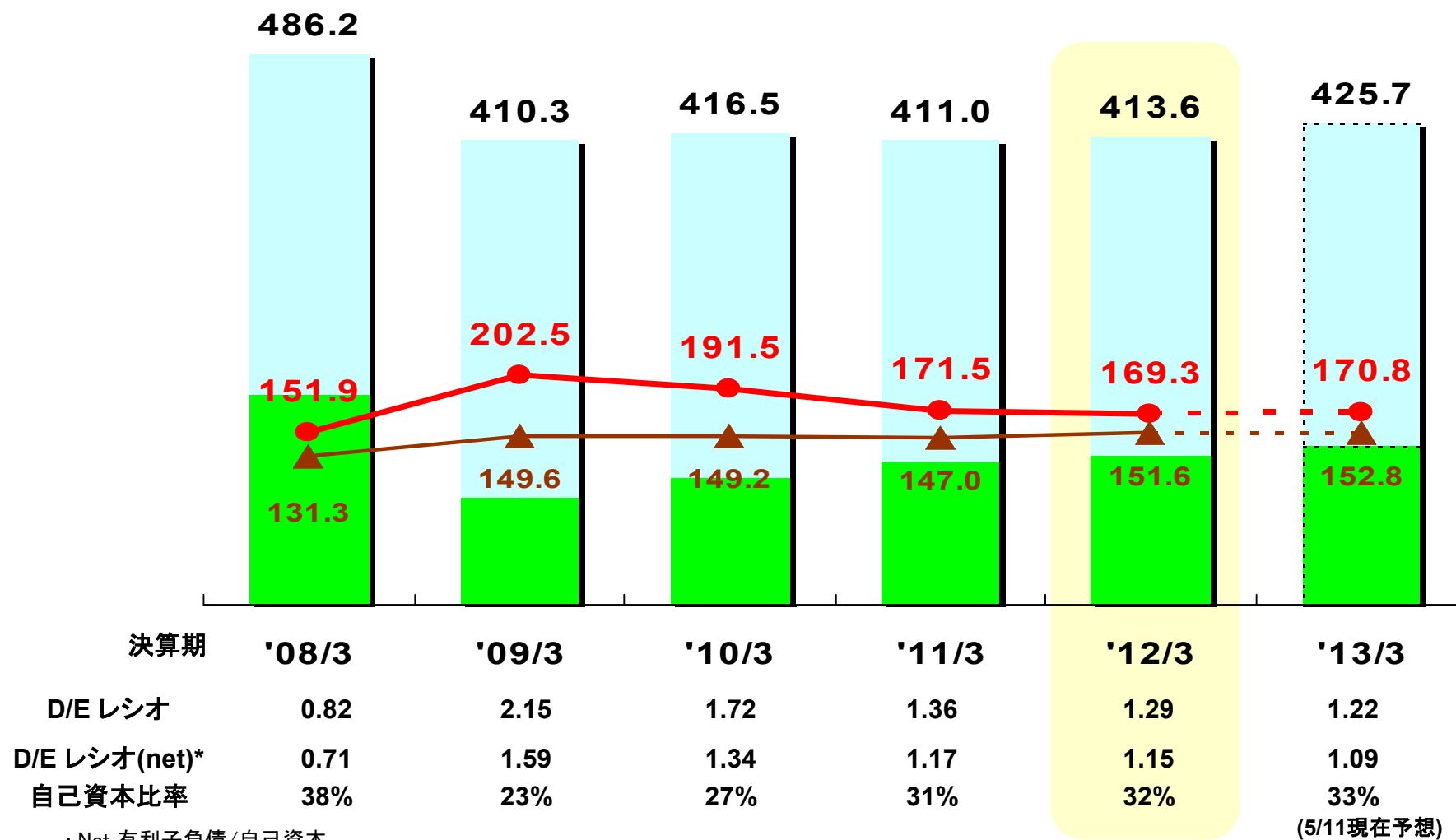


注:2009年度以前は旧セグメントベース(2008年以前の各セグメントの数値は参考であり、監査法人の監査を受けておりません)

財政状態

(単位：十億円)

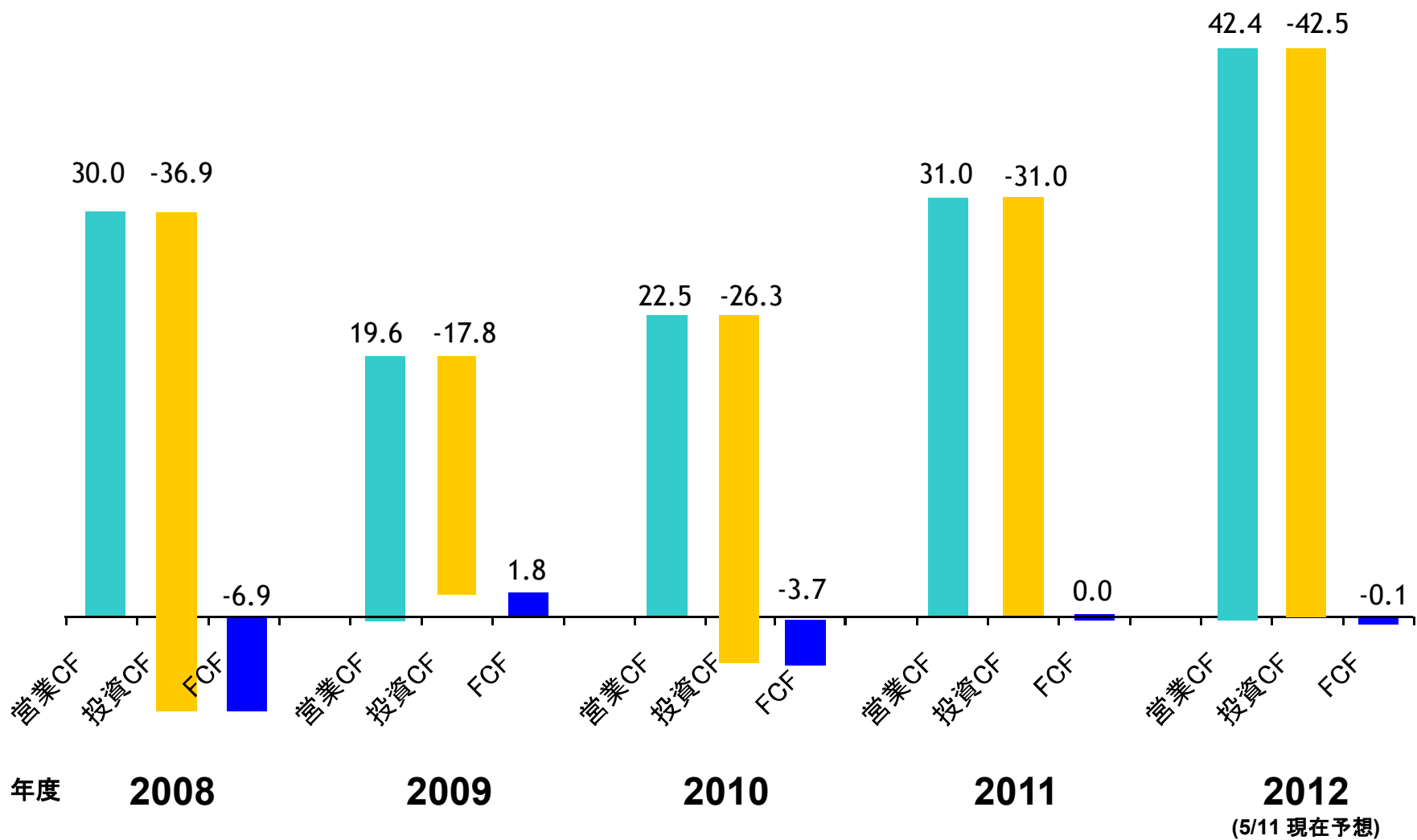
■ 総資産
 ■ 自己資本
 ● 有利子負債残高
 ▲ Net有利子負債残高



* Net 有利子負債/自己資本

キャッシュフロー

(単位：十億円)



将来の見通しに関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、様々な既存のリスク、未知のリスク、不確定要因等を伴っているため、実際の事業環境・事業活動は、これらによる影響を受けることとなります。したがって、将来の見通しに関する記述内容またはそれによって示唆されている内容が、実際に生じる結果と大きく異なる可能性もあります。

本資料は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている目標、想定、期待、予測、計画、評価等の情報が正確である、または将来その通りになるということを、当社が保証したものではありません。

将来の見通しに影響を与える潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書またはホームページの「事業等のリスク」の項目に記載されておりますが、潜在的リスクや不確定要因がその項目ですべて網羅されている訳ではありませんので、その旨ご留意ください。

本資料は、株主・投資家等の皆様に、当社の経営方針・経営情報等をよりよくご理解いただくことを目的として作成しており、当社の株式の購入・売却など、株式等の投資を勧誘することを目的としたものではありません。したがって、皆様が実際に投資なさる際には、本情報に全面的に依拠して判断を下すのではなく、あくまでご自身で投資の可否をご判断くださいますようお願いいたします。